

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 7	身体拘束をしないケアの実践に努め、虐待防止の徹底を図る。	高齢者虐待や身体拘束について学ぶ機会を持ち、見過ごさないように注意を図る。	①法人内の研修や外部研修に積極的に参加し、学ぶ機会をもつ。その際、資料等を通じ、全職員間で情報を共有し、学んだ事を個人個人で文章にまとめて、理解を深める。 ②常に格別の注意を払い、高齢者虐待や身体拘束ケアのないケアの実践を図る。	12 か月
2	35	防災対策を見直す。	火災や水害時に利用者様の命が守れるよう避難方法や、救護方法を全職員が身につける。	①夜間想定や地元消防団との避難訓練を年数回行う ②定期的に数ヶ月おきに備蓄品、避難袋の中身の確認を行う ③職員緊急連絡網が機能しているか確認する。	12 か月
3	4 (3)	運営推進会議の運営方法について、併設の事業所の場所を借りて行っているが、外部評価で事業所内での開催について検討を望まれた。	運営推進会議について、地域委員さんが負担を感じることなく参加して頂け、活発な意見交換が行える運営方法を委員さんとともに考える。	①運営推進会議にて、運営推進会議委員の皆さんと今後の運営方法について検討する。 ②会議で決定した運営方法を実践し、事業所の様子を見ていただける内容を今よりもっと盛り込む。	12 か月
4	2 3	地域貢献についてもっと関わりを深める取り組みを行う。	認知症カフェを開催し、気軽な相談窓口としての施設を目指す。	①同法人内のグループホームと協力し2か月に1回に交互に認知症カフェを開催する。 ②地区のサロンに参加し交流を深める	12 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。